

患者さまへ

「人工膝関節全置換術後患者の階段昇降に必要な膝伸展筋力と膝関節屈曲角度」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2020年4月より2023年3月までに当院 人工膝関節センターで両側の人工膝関節全置換術を受けた方。
2 研究目的・方法	<p>人工膝関節全置換術は、末期の変形性膝関節症の方の動作中の痛みを改善するために確立された治療ですが、術後になんらかの生活動作に困難さを抱える患者さまが一定の割合で存在することが報告されています。特に階段の上り下りは最も困難さが残りやすい動作と報告されています。人工膝関節置換術を受けた方は、膝を伸ばす力と曲げる角度が一般的な値よりも低下していることが多く、膝をかばうような階段の昇り降りの方法をとるため、階段を昇り降りするために、どの程度の膝を伸ばす力や膝を曲げる角度が必要かは明らかになっていません。</p> <p>そのため本研究では、人工膝関節全置換術後患者さまが階段の昇り降りを行うために必要な膝を伸ばす筋力と膝の関節の曲がる角度を明らかにすることを目的といたします。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年5月予定)後~2024年8月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢・性別・身長・体重・既往歴・手術前の変形の重症度・手術情報（使用機種・手術時間・手術の方法）・最後の手術から12ヶ月目の膝を伸ばす筋力・関節の曲げ伸ばしの角度・階段の昇り降りの状況・痛みの状況 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 南條 恵悟 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>